

まった。一回限りの財産税は二年度の税込不足にあてられたばかりか、戦時補償債務や国債の償却にあてる構想が逆に財産税物納財産引当ての交付公債の発行となり、これらは戦後第二次インフレの一つの因をなした。また財政均衡方針も終戦処理費(占領等経費)、公共事業費(失業対策)、価格差補給金の増大(価格安定資金はついに設置されなかった)で、その保持は至難となった。それらは二一年から急速に増大した司令部の細目指示により、日本政府の意図が果たされなかった例証である。これらについては既刊「財政史」を参照していただきたい。

なお、金融緊急措置や三・三物価体系関係資料は、「財政史」第一七巻の「資料」編におさまりきらず、後日の公刊を期していたが、本資料集には、委員会の活動に関連する一部資料を収録したに過ぎない。質量ともに高い関連資料は、本資料集の姉妹編として後日の編集に委ねることになったので、御了承を頂きたい。

最後に、本資料集の編集の一部を立命館大学の伊藤正直助教授に援助していただいた。ここに謝意を表するものである。

一 委員会名簿

1 構成別名簿(○印は理事)

構成	氏名	在任期間	備考
委員長	賀屋 興宣	昭20・8・28 - 20・9・14	元大蔵大臣、戦犯指定により辞任
貴族院議員	太田 正孝	昭20・10・13 - 21・1・1	元大蔵政務次官、公職追放により辞任
衆議院議員	太田 正孝	昭20・8・28 - 20・10・13	委員長に転任
副委員長	柳田 誠二郎	昭20・10・13 - 21・8・26	日銀副総裁
衆議院議員	柳田 誠二郎	昭20・8・26 - 21・8・26	子爵
学識経験者	綾小路 友光	昭20・8・26 - 21・8・26	子爵
委員	○裏松 友光	" " " " " "	日大法文学部教授、元賞勲局総裁
貴族院議員	○下條 康賢	" " " " " "	子爵
衆議院議員	舟橋 清賢	" " " " " "	男爵
衆議院議員	水谷川 忠磨	" " " " " "	男爵
衆議院議員	○矢吹 省三	" " " " " "	男爵、元大蔵政務次官
衆議院議員	村瀬 直養	昭20・12・6 - 20・10・13	元商工次官物価局次長・法制局長官
衆議院議員	○小笠原 三九郎	昭20・8・28 - 20・10・13	元大蔵政務次官、商工大臣就任により退任

構成	氏名	在任期間	備考
学識経験者	高橋 亀吉	昭20・8・28 - 21・8・26	高橋経済研究所長 安田保善社常務理事、元海軍省経理局長 勲銀副総裁、大蔵省OB
〇	武井 大助	" " " " " " " "	朝日新聞社参与 東京商大教授
〇	丹波 秀伯	" " " " " " " "	住友銀行副社長、次いで社長 野村合名総務理事、野村銀行社長
〇	中山 伊知郎	" " " " " " " "	三菱本社理事、三菱信託社長(10・30辞)
〇	野田 哲造	" " " " " " " "	東大教授、次で日本商工会議所専務理事 日銀囑託、次いで東大教授に復職
〇	原 邦道	" " " " " " " "	元東京商大教授
〇	山室 宗文	" " " " " " " "	東大教授
〇	荒木 光太郎	昭20・11・6	化学工業統制会会長
〇	大内 兵衛	" " " " " " " "	石炭統制会理事、経団連事務局長
〇	高垣 寅次郎	" " " " " " " "	東大教授
〇	植村 甲午郎	昭20・12・6	京大名誉教授
〇	北山 富久二郎	" " " " " " " "	前中央物価統制協定会議常務理事、のち阪大教授
〇	高田 保馬	" " " " " " " "	織維統制会理事、元東大教授
〇	中西 寅雄	" " " " " " " "	女子経済専門学校長
〇	本位 祥男	" " " " " " " "	秩父セメント常務理事
〇	森本 厚吉	" " " " " " " "	元農商次官、東京都次長(20・1任)
〇	諸井 貫一	" " " " " " " "	日本銀行総務部長
〇	湯河 元威	昭20・11・6 - 21・8・26	東京商大教授
〇	川北 禎一	" " " " " " " "	京大教授
〇	鬼頭 仁三郎	" " " " " " " "	日本銀行総務部企画課長
〇	小島 昌太郎	" " " " " " " "	
〇	佐々木 直	" " " " " " " "	

構成	氏名	在任期間	備考
学識経験者	木暮 武太夫	昭20・8・28 - 21・8・26	商工政務次官就任により退
〇	田村 秀吉	" " " " " " " "	元大蔵参与官
〇	中嶋 彌次	" " " " " " " "	元大蔵政務次官
〇	中村 三之丞	" " " " " " " "	前大蔵政務次官
〇	永野 護	" " " " " " " "	法制局長官就任により退
〇	榎川 渡	" " " " " " " "	前大蔵参与官
〇	西川 貞一	21・8・26 - 20・10・13	元大蔵参与官・大蔵政務次官
〇	藤本 捨助	" " " " " " " "	大蔵政務次官就任により退
〇	松村 光三	" " " " " " " "	元大蔵参与官・大蔵政務次官
〇	由谷 義治	" " " " " " " "	大蔵政務次官就任により退
〇	河野 密	昭20・12・6 - 21・8・26	日本澱粉統制株式会社社長
〇	高橋 守平	" " " " " " " "	日本商工会議所理事長
〇	船田 中	" " " " " " " "	(21・5・22 商工大臣就任)
〇	星島 二郎	昭20・8・28 - 21・8・26	毎日新聞社取締役編集局長
〇	阿部 賢一	" " " " " " " "	興銀副総裁、大蔵省OB
〇	荒井 誠一郎	" " " " " " " "	日銀副総裁、総裁就任により退
〇	新井 栄吉	21・5・10 - 20・10・13	東洋経済社長、大蔵大臣就任により退
〇	石橋 湛山	21・8・26	ダイヤモンド社社長
〇	石山 吉	" " " " " " " "	帝国銀行頭取、大蔵省OB
〇	岡野 武雄	" " " " " " " "	三和銀行頭取
〇	小野 清	" " " " " " " "	中外商業新報社長
〇	岡野 武雄	" " " " " " " "	内閣副書記官長就任により退、大蔵省OB

構成	氏名	在任期間	備考
専門委員	根津知好	昭20・11・6 21・8・26	共同通信社編集局解説委員 東京商大教授 日本銀行調査局長
" "	山口茂	" " " "	
" "	山本米治	" " " "	

2 理事名簿

氏名	在任期間	氏名	在任期間
新木栄吉	昭21・9・1 20・10・13	藤本捨助	昭20・10・19 21・8・26
入間野武雄	" 21・8・26	木暮武太夫	" 20・10・31
裏松友光	" "	大内兵衛	昭20・11・27 21・8・26
小笠原三九郎	" 20・10・13	武井大助	" "
高橋亀吉	" 21・8・26	中村三之丞	" "
田村秀吉	" "	中山伊知郎	" "
野田哲造	" "		
矢吹省三	" "		

3 部会別名簿

(1) 昭和二〇年九月一日から一〇月一九日まで

- A 部会 (インフレ対策委員会、昭20・9・1 設置決定)
 - 部会長 矢吹省三
- B 部会 (統制の解除に関する小委員会、昭20・9・10 設置決定)
 - 部会長 山室宗文
 - 部会委員 阿部賢一、石山賢吉、小汀利得、木内四郎、下條康麿、丹波秀伯、中村三之丞、西川貞一、藤本捨助、舟橋清賢
- C 部会 (通貨価値及通貨制度対策、昭20・9・24 設置決定)
 - 部会長 中村三之丞
 - 部会委員 綾小路護、荒井誠一郎、入間野武雄、岡野清豪、高橋亀吉、中嶋彌團次、中山伊知郎、由谷義治
- D 部会 (産業及証券対策、昭20・9・24 設置決定)
 - 部会長 木暮武太夫
 - 部会委員 阿部賢一、石山賢吉、田中豊、永野護、檜橋渡、原邦道、松村光三、水谷川忠麿

(2) 昭和二〇年一〇月一九日から一二月二七日まで

- 第一部会 (通貨価値安定等)
 - 部会長 矢吹省三
 - 主査 高橋亀吉
 - 委員 荒井誠一郎、石橋湛山、石山賢吉、小汀利得、木内四郎、木暮武太夫、武井大助、田中豊、田村秀吉、永野護、原邦道、藤本捨助、松村光三、水谷川忠麿、柳田誠二郎、山室宗文、由谷義治
- 大蔵省担当官 愛知揆一書記官、谷村裕事務官
- 第二部会 (通貨制度)
 - 部会長 入間野武雄

主 査 中山伊知郎
委 員 裏松友光、小汀利得、木暮武太夫、田中豊、丹波秀伯、中村三之丞、野田哲造、舟橋清賢、松村光三、柳田誠二郎、山室宗文

大蔵省担当官 西原直廉書記官、賀屋正雄事務官

第三部会（財政金融及証券）

部会長 中村三之丞

主 査 武井大助

委 員 阿部賢一、綾小路護、荒井誠一郎、石橋湛山、入間野武雄、岡野清豪、木内四郎、下條康麿、田中豊、田村秀吉、中嶋彌團次、永野護、西川貞一、野田哲造、山室宗文

大蔵省担当官 平田敬一郎書記官、谷村裕事務官

(3) 昭和二〇年十一月二十七日から二二年二月二十六日まで

財政部会

部会長 中村三之丞

主 査 武井大助

委 員 阿部賢一、荒井誠一郎、石橋湛山、入間野武雄、裏松友光、大内兵衛、岡野清豪、木内四郎、河野密、下條康麿、田中豊、田村秀吉、中嶋彌團次、永田清、永野護、西川貞一、野田哲造、原邦道、船田中、星島二郎、矢吹省三、山室宗文、湯河元威

大蔵省連絡官 愛知揆一書記官、大平正芳事務官

通貨部会

部会長 入間野武雄

主 査 中山伊知郎

委 員 荒井誠一郎、荒木光太郎、大内兵衛、小汀利得、高垣寅次郎、高田保馬、高橋亀吉、田中豊、田村秀吉、丹波

秀伯、中嶋彌團次、中西寅雄、中村三之丞、永野護、野田哲造、原邦道、舟橋清賢、松村光三、山室宗文

大蔵省連絡官 西原直廉書記官、賀屋正雄事務官

物価部会

部会長 大内兵衛

主 査 高橋亀吉、中西寅雄

委 員 阿部賢一、綾小路護、荒井誠一郎、石川一郎、石橋湛山、石山賢吉、植村甲午郎、小汀利得、木内四郎、北山

富久二郎、河野密、高田保馬、高橋守平、武井大助、田中豊、田村秀吉、中山伊知郎、永野護、藤本捨助、船

田中、星島二郎、本位田祥男、松村光三、水谷川忠麿、村瀬直養、森本厚吉、諸井貫一、山室宗文、湯河元威

大蔵省連絡官 平田敬一郎書記官、谷村裕事務官

編注 本資料は大蔵省資料乙六〇四―二八、二九所収資料により編者が作成した。ただし、1の備考欄は、委員退任理由、大蔵省との関係、当時の現職等を編者が調査して略記した。なお、現一橋大学の前身である東京商科大学は、昭和一九年一〇月から二二年三月まで東京産業大学と改称したが知名度の高い「東京商大」と記した。